

大きくなった!  
便利になった!  
新しくなった!



NEW

# ミニポール®・ブラック



## 新ミニポール・ブラックの特徴

- 和名: クロマルハナバチ (在来種)
- 学名: *Bombus ignitus*
- 働き蜂数: 40頭以上
- 適用面積: 約10~13a\*
- 平均寿命: 約40日\*
- 摘芯までの期間、受粉期間が短い作物などの利用に最適
- イチゴ等の小面積栽培にも対応したコンパクト規格

## 改良ポイント

- ① 働きバチを40頭に増やし、巣箱を大型化。寿命が延長、利用可能面積も拡大
- ② 花粉給餌口を新設
- ③ 新しい“ビーホームシステム”により働きバチの回収機能を向上
- ④ 巣箱の大型化に伴い、餌用糖液量を旧型巣箱よりも40%増量
- ⑤ 新発想! マルハナバチが見える紫外線を利用した“ビービジョンシステム”搭載! (詳しくは裏面参照)

\*作物や利用条件によって変わります。 注) クロマルハナバチは北海道ではご利用いただけません。

Natural Pollination is NATUPOL®



大きくなった!便利になった!新しくなった!



# ミニポール®ブラック

## ミニポール・ブラックの5つの改良ポイント



営巣空間を約2倍に拡大。より大きな巣に発達できることで利用期間(巣箱寿命)が延長



フタを開けずにラクラク給餌。便利な花粉給餌口を巣箱天面に新たに設置



回収機能を改善した“ビーホームシステム”を採用。ローテーション利用など、活動制限が必要な場面での利用がより便利



巣箱の大型化で糖液タンクも大型化。糖液量を40%増量。巣箱の利用期間延長に寄与



新発想!ハチにくっきり見える巣門!紫外線を利用した巣門の目印機能“ビービジョンシステム”搭載!

左:可視(通常)光でみた巣箱  
右:紫外線を可視化してみた  
巣箱(ハチの見た目)イメージ



## ミニポール・ブラックをご利用いただく際の4つの約束

- 巣箱到着後は最低2~3時間は安静にし、巣門の開放は夜間か翌朝以降に
- 巣箱は温度、湿度の変化が少ない場所を選び、必ず日除けを設置
- 正常な(稔性のある)花粉がたくさん出る栽培管理(特に管理温度に注意)
- UVカットフィルムや化学農薬の利用時にはハチへの影響を確認

作物	使用面積の目安	温度の目安
トマト	~1,300m <sup>2</sup>	12℃~30℃
ミニトマト	~1,000m <sup>2</sup>	14℃~30℃
イチゴ	~1,300m <sup>2</sup>	10℃~27℃
メロン	~700m <sup>2</sup>	16℃~30℃
ホオズキ	~1,300m <sup>2</sup>	10℃~30℃

ミニポールブラック

検索



アリスタライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1

TEL.03-3547-4415 FAX.03-3547-4695